

ステロイド内服を避けた治療中に子の皮膚症状も消失した母子の経過 (33 歳・小児 女性・小児)

症例 ID：001-30-T14 | 記録日：2003 年 9 月 28 日

1. 診断・治療前経過

女性は結婚約 1 か月後にリウマチと診断され、当初は漢方薬を服用しました。主治医変更後にステロイド内服を勧められましたが、使用せず、約 1 年半検討した後に松本医院を受診しました。

子にもアトピー症状がありました。具体的な発症時期と部位は記録されていません。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	本人はステロイド内服を勧められましたが、使用していません。子のステロイド使用歴は不明です。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	使用していません。
中止時期	該当しません。
来院前／後	本人のステロイド使用歴は確認できません。子の使用歴は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
結婚約 1 か月後	診断	リウマチと診断され、漢方薬を開始しました。
主治医変更後	治療選択	ステロイド内服を勧められましたが、使用しませんでした。
約 1 年半後	治療開始	松本医院で漢方薬と灸による治療を開始しました。
治療初期	変化	本人には比較的早期から症状の変化がみられました。
同時期	子の治療	子は毎日漢方入浴を続けました。
記録時点	経過後	本人の体調は改善に向かい、子のアトピー症状はみられなくなりました。

4. ピーク時期

本人と子の皮膚症状について、ピーク時期の具体的な所見は記録されていません。

5. 困りごと

- 治療費や治療方法について家族の理解が得られず、心理的な負担がありました。
- 漢方薬と灸を毎日続ける必要がありました。

6. 経過のまとめ

本人の体調は比較的短期間で改善に向かいました。

子は毎日の漢方入浴を続け、記録時点ではアトピー症状がみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。